

第22回全日本バトン選手権大会ルール一覧

種目	タイム	演技内容	審査注目内容
①ベイシックストラット ●小学生のみ ●低学年・高学年	バトンを回さず左周りに4角に8個間ずつ歩く ●アテンションで始まりアテンションで終了		歩き方、腕の振り方 スイッチを90度 視線、姿勢、 元の位置に戻る
②ソログレード1～6 ●グレードごとの審査	文部省選定ビデオ規定演技 グレード1、2、3、4、5、6の規定演技 ●アテンションで始まりアテンションで終了		正確なバトン操作と体の動きカウントが正しい。姿勢
③ソロバトン ☆東京都より受賞 ●グレードごとの審査 ●小学生・一般各最高特典者に東京都より受賞	●グレード1から4までの出場者は1分迄 ●グレード5以上の出場者は1分半迄	演技は次の順番で行うのが望ましい ①コンタクト ②フィンガーワーク ③ロール ④フラット ⑤縦エアリアルの順に行うのが望ましい	左記の5項目にはそれぞれ技術の難度があります。 技術基準をHPに載せてありますので、審査用紙見本でご確認ください。
④ソロツーバトン ⑤ペアバトン ●小学生の部・一般の部で審査	小学生の部は1分 一般の部は1分半まで		●サリュートから始まりサリュートで終了
⑥チームポンポン ☆毎日新聞社より受賞	●小学生2分迄 ●一般2分半迄	自由曲・各チームCDを用意下さい。	演技中でスタンプ（ピラミット）禁止
⑦チームバトン ●小学生の部、一般の部で審査	●小学生2分半迄 ●一般3分15秒迄	参加団体数、人数により、小編成・大編成で審査する場合があります	

*①から⑥は マーチエンドレステープ使用／⑥⑦はチーム持参の自由曲

*③のソロバトンはグレードごとに審査。グレード認定者以外の方はグレード5で出場

*グラウンドチャンピオン過去2年間ソロ競技・チーム演技にて一位受賞者は競技対象から外し、協会が認めた個人・チームはグラウンドチャンピオンとして模範演技を行い栄誉を称える。学校チームはそれに該当しない。